

ぶうげんびりあ2月

2021年 2月号 No.260

<https://ainohamajiaikai-k.or.jp/>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

No.1



今年は例年以上に寒い日が続いていますが、山々を見渡すとハゼノキの鮮やかな紅葉が見られ、満開の緋寒桜が春の訪れを告げています。去る1月14日夜半にグループホームフレンド3が全焼する火災が発生し、ご家族や近隣の皆様に大変なご迷惑とご心配をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。速やかな避難誘導で利用者の皆様に、お怪我などがなかったことが不幸中の幸いでした。消防長から「避難誘導、消防車両などの誘導も適切だった。今後も避難訓練を続けてほしい。」との電話をいただきました。また、火災の翌日から心配された皆様が来園、電話やメールも寄せられ、お見舞いをいただきました。深く感謝申し上げます。お見舞いの皆様とお話してみると、本園がいかに多くの皆様から愛され支援されてきたかを、つくづく感じました。現在、本園では園長の陣頭指揮のもと、フレンド3の再建に向けて鋭意作業を進めておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。(副園長:奥田)

2月行事予定表

- 1日(月): 体重・血圧測定
- 10日(水): 子宮がん検診
健康診断
健康相談
- 16日(火): 避難訓練
- 18日(木): 研修会
認知症について
- 23日(火): 音楽の日

丑年の祝い

1月14日(木)に丑年のお祝いを行いました。今年は利用者さん2名(猿渡明弘さん(60歳)、平山和子さん(72歳))、職員4名の方のお祝いでした。

今年はいつもと違い、年の祝いと餅つきを一緒に行いました。年の祝いでは、プレゼントの贈呈や神主??(職員が神主の衣装をつけている事に利用者さんはすぐに気づき拍手や笑い声が聞こえました。)が祝詞を上げ、副園長がお祝いの方々に屠蘇を振舞い、健康祈願を行いました。その後は、餅つきのイベントです。コロナ感染予防のため、実際に餅を搗く事は出来ませんでしたが、お笑いコンビ「クールポコ??」が登場し、エア餅つきで利用者さんも盛り上がり、コロナに負けにくい沢山の笑顔が見る事が出来ました。今年1年、利用者の皆さんが健康で過ごせるよう心から願う今年初めての行事でした。(記事:里田)



お誕生日 おめでとう



池田 ヨシエさん



光 優輔さん



政岡 りつ子さん



中田 茂代さん



泉 光太郎さん

お花見遠足

就労継続支援B型事業

1月30日(土)、就労B型の皆さんは花見遠足に行ってきました。天気は前日までの雨が嘘のように晴天になり、肌寒い中でしたが、最高の花見日和でした。午前中に奄美市の崎原(さきばら)、園で昼食をたべた後、午後は大和村にある森林公園フォレストポリスと2か所でお花見を行いました。崎原では満開の桜並木で熱々のコーヒーを飲みながらゆっくり春の訪れを感じ、午後は自然一杯の中マイナスイオンを浴びながら、徐々に自然の空気を満喫しました。その中で、利用者の皆さんが満面の笑みで満開の桜を愛でて楽しんでいる姿に、ほっと胸をなでおろす、そんな一日になりました。(記事:名島)



三賞受賞者

<努力賞>

- ・酒井 真希さん…魚の目の治療を継続して受ける事ができ、治療を終える事ができました。
- ・朝谷 テツミさん、岩切 正さん、森山 麻李亜さん、圓 初代さん、坂井 文也さん、永田 三十六さん、政岡 りつ子さん、濱手 輝代さん…就労Bで育てた野菜の販売を積極的に取り組んでくれました。
- ・島袋 隼弥さん…新しい事業所でも、他の利用者と一緒に積極的に話をし、仲良く作業ができています。

<親切賞>

- ・森山 麻李亜さん…食事の際、元気の良い挨拶(おはようございます。ごちそうさまでした。など)で、給食職員は元気をもらっています。

<奉仕賞>

- ・田中 國枝さん…洗濯物配りや段ボール破りなど、職員の手伝いを意欲的に頑張っています。
- ・圓 初代さん…カフェタイムの時に、コップを運んだり準備を手伝ってくれます。
- ・岩越 タツヨさん…カフェタイム後に、洗ったコップを拭いてくれます。
- ・中田 信枝さん…大掃除の際、掃除や窓拭きを頑張りました。
- ・中田 茂代さん…大掃除の際、窓拭きを頑張りました。

「見つけた！私の力が発揮できる場所」

相談支援事業所（ていだ）

相談業務で関わらせて頂いている叶 宏之（かなえ ひろゆき）さんのお話です。14年前まで愛の浜園の施設に入所していたので、もしかしたらご存知の方もいるかもしれません。施設の自治会の会長や運動会の徒競走、紅白リレーで活躍していた事は、私の記憶にはっきり残っています。また、負けず嫌いで頑張る性格ではありますが、視力の関係で愛の浜園での農作業や手工芸の作業等は苦手でした。また、少し不器用なところもある為、なかなか習得する事ができない状態でした。その当時は愛の浜園でも叶さんに合った作業を見つけようと試行錯誤して支援していた記憶があります。25年の入所生活が続いていましたが、父親が亡くなった事をきっかけに母親と自宅で生活する事になりました。それから9年の月日が流れ、叶さんから一本の電話があり、「事業所（指定福祉サービス事業所 まんまる）で働きたいんだけど、どうすればいいのかわからなくて。」と相談がありました。その日は丁寧に説明をし「考えてみます。」と話は終了。数日後に私たちの相談支援事業所（ていだ）を利用して「本人のスキルを活かせる事業所を見つけてほしい。」と母親から連絡がありました。時間をかけ話し合いを重ね、見学を繰り返しながら事業所を探しました。最初の事業所が決まり、叶さんは意欲的に頑張りましたが、ペットボトルの洗浄や分別をする仕事を、2年間、ほぼ休まず利用し頑張りましたが、体調を崩してやむなく事業所を変更する事になりました。次に出会った事業所（就労継続支援B型）では、叶さんの希望もあり、室内で木工品をペーパーで磨く仕事に取り組む事になりました。視力が弱いだけにどうなるか不安はあったようですが、毎日、毎日、その仕事を繰り返し、時間をかけて一生懸命に磨いた結果、事業所の職員も真似できないツルツルと手触りのいい木工品ができたのです。自分なりの感覚でペーパーの種類を変え、作品へと仕上げていくのです。ひとつの作品にどのくらいの時間がかかった事でしょう。コツコツと磨く仕事は、叶さんにとって誇りのある仕事なのです。事業所を訪問する度に自慢気に話してくれます。それだけ今の仕事に誇りをもっている事を感じます。正直、叶さんにこんな才能があるとは思いませんでした。現在の事業所でも職員が真似をしたけど、なかなかできずびっくりしていると話しています。私たち愛の浜園では見つける事ができなかった才能。事業所も叶さんに合った仕事を見つけられた事は本当に自信になると思います。相談員としても感謝しています。事業所やその支援者との「出会い」って本当に大切な事だとこのような場面を目にした時にいつも感じます。その利用者の為に、どれだけ真剣に向き合って支援しても、色々な要因で合わない事業所もあります。どんな場所でどんな仕事合っているのか本人しか解らないのかもしれませんが、だからこそ、今回の叶さんのケースは素晴らしい「出会い」だと思います。これからも「自分らしく」、力が発揮できる場所で活躍する事を期待しています。（記事：辻原）



利用者さんのお正月 ~今年も利用者さんの笑顔と過ごしたい~

お正月はゆっくり過ごすのも良いですが、今年のお正月は園で過ごす方が多かったので、ゆっくり過ごすのは勿体ないと思い、三が日は、1日の新春カラオケ大会に始まり、ドライブやカルタ取りなどを計画しました。普段からカラオケやドライブはしていますが、いつもよりカラオケの時間を長めに設定したり、ドライブも午前と午後に分けたりと少しでも多くの方が楽しめるようにしました。また、カルタ取りは、テーブルの上に広げた利用者の顔写真の中から、利用者の名前を呼び、写真を取る方法で挑戦してみました。ここで力を発揮したのが、竹田 美喜子さんと短期入所の森山 真智代さんです。さすがにここは入所している竹田さんが強かったようですが、真智代さんも利用者の名前を覚えており、なかなかの勝負だったようです。2月で92歳を迎える池田 ヨシエさんも1枚取ったとか…。2021年も皆で楽しい思い出をいっぱい作っていきましょう。（記事：大田）



『食で元気と笑顔を♪』 “新型コロナウイルス”が猛威を奮い

こんなに長く続くとはい…。みなさんも感じているかと思いますが、目に見えないウイルスとの戦いはまだまだ続きますが、一人ひとりの行動や我慢でウイルスに打ち勝ち、完全収束出来る日がくると信じています。さて、話題を変え、愛の浜園の給食メンバーからメッセージを届けたいと思います。私は産休代替栄養士として入職しました。早いもので、3月で1年になります。給食職員一同は、食事で元気を届けたく、ご飯が“美味しい”と言って頂きたい思いで日々、食事作りに努めているところです。旬のお野菜を沢山取り入れること、島の食材をふんだんに使い郷土料理や行事食をいれることで季節を感じて頂きたいと思っています。最近では週に1回のペースでふくらかん、黒糖ケーキ、お芋を使ったお菓子などの手作りおやつを作っています。時に失敗することもあります(笑)、喜んで食べて頂く瞬間が私にとっても幸せな瞬間でもあります。今度はたんかんを使ったケーキやゼリーにチャレンジします！成功させたいです♪ コロナウイルスの影響で行事が縮小、中止になる中で、手作りの食事が心と身体に染みわたり、利用者、一人ひとりが食事で元気になる活力となり、食べることで喜んで笑顔になって頂きたいと思っております。（記事：栄養士 福崎）



愛情たっぷりの食事を！心より願いを込めて作ります！

